公益財団法人　双日国際交流財団
2026年度　事業計画

財団定款に則り、以下の助成事業及びその他の事業を行う。
当財団の主たる事業である助成事業については、奨学金助成、国際交流助成に取組むこととし、それぞれ下記の通りの重点を置いた助成を行っていく。

1.助成事業

2025年11～12月に公募し選考された下記助成事業等28案件に対し助成を行う。
助成事業予算額　総合計2,747万円

（1）学術研究助成

2026年度申請なし

（2）奨学金助成

財団奨学金制度の下、外国人私費留学生に対する奨学金給付事業を今年度も継続して行う。2025年度で支給終了となる奨学生数を補充・選考して、計16名の外国人私費留学生に対し助成する。
予算額計1,602万円

（3）国際交流助成

日本に対する理解の促進と日本ファンの醸成に繋がるような事業、特に将来ある若い人達が行う国際交流事業に重点を置いて、下記4分野、合計27件に対し助成する。
予算額計　1,145万円

イ．国際会議等

国際交流を目的とした国際会議等の開催及び参加に対し助成する。特に大学生等若者が参加する会議に重きを置く。

・日米学生会議、日中学生会議、日韓学生フォーラム、日本インド学生会議他
　計13件　予算額　計　485万円

ロ．　国際交流

海外における日本理解の促進につながるような人物交流、文化交流に対する助成。この一環として、今年度も当財団の奨学生及び奨学生 OB に財団役職員も加えた奨学生交流会を計画。

MPJ Youth2026 年度アフリカ研修、Global talk2026-7、Hallo Japan 2026 / 第 17 回日独ユースサミット、財団奨学生交流会 他

計 7 件　予算額　計 320 万円

ハ．　日本文化紹介等

海外において日本の文化、伝統芸能等を紹介する公演、展示・実演等に対し助成する。

第 51 回ジャパンウィーク 2026 年イタリア・パレルモ、万博から世界へ～セルビア・ルーマニア・ヨルダン能楽特別公演 2026（山本能楽堂）

計 2 件　予算額　計 90 万円

二．　日本語普及事業に対する助成

海外の教育機関等が行う日本語教育、日本語普及事業等に対し助成を行う。

J.LIVE Talk、34th National Japan Bowl、ベトナムタイビン地域における日本語学習者増加プロジェクト、復興人材育成と日本文化体験を通じたウクライナ学生支援事業他

計 5 件　予算額　計 250 万円

2.その他の事業

上記、助成事業の他「その他の事業」として、下記 2 事業を行う。

予算額合計　200 万円

（1）　情報誌「財団だより」第 23 号の発行　　予算額　154 万円

（2）　情報公開の促進と当財団から外部への情報発信及び外部との情報交換の為、財団ホームページの運営管理。　予算額　46 万円

以上